

担当医: 室岡守

【略歴】

平成 22 年 3 月まで秋田県立リハビリテーション・精神医療センター神経・精神科に勤務。

平成 22 年 4 月より現職。

【所属学会】

日本精神神経学会(精神科専門医)・日本児童青年精神医学会など

【資格】

精神保健指定医

【診療案内】

■ 何歳まで診てくれますか？

初診は原則中学生までです。高校生年代以降のお子さんにつきましては、「知的障害」「発達障害」などで当センターに受診を続けている方や他県から転居されてきた方などは柔軟に対応しておりますので、担当医にお問い合わせ下さい。

★乳児期までの小さなお子さんの相談については、小児科や小児科メンタルヘルス外来の受診をお勧めしています。

■ 予約制ですか？

完全予約制です。

★こころのケア外来の場合は、やむを得ない場合は「紹介状」無しの受診もお受けしております。ただし、他の病院で精神科を受診している方は、必ず「紹介状」を書いてもらって下さい。特に子どもの場合は、治療の経験や服薬の有無で、診断や治療方針に大きな影響を与えることがあります。いろいろな理由で「頼みづらい」とお感じになる方もいらっしゃると思いますが、「紹介状は治療のためとても大切な情報です」ので、できる限りもらって来て下さい。それでも、どうしてもという場合は受診をお受けしますが、「紹介状」が準備できなかったことを最初の診察のときにお話しいただきたいと思います。

★夜間、土、日、祝日を含め救急対応および入院対応はしておりませんのでご了承下さい。

■ どんな子を診るの？

「子どものこころの症状」と思われることがあったら、まずご相談下さい。

・子どもは、必ずしも大人のように「悩んでいる」「心配だ」「落ち込んでいる」「眠れない」などと周囲が分かりやすい表現をしてくれるわけではありません。時には「頭痛」「腹痛」「めまい」といった体の問題で表れてくることもあります。また、「不登校」「しゃべらない」「反抗する」「食べられない」といった行動の問題で表れてくることもあります。「抜毛」「自傷」など癖や習慣にも注目する必要があります。

★「ひきこもり」や「こだわり」などのためどうしてもご本人が受診を嫌がる場合には、まずご両親だけでも来院してご相談をいただくことも可能です。無理矢理に病院に連れてくることで、かえって治療のきっかけを失うこともありますので、迷ったときはまず担当医にご相談下さい。

★子どもの療育が中心である当センターの性質上、「統合失調症」「躁うつ病」「うつ病」「摂食障害」「人格障害」「薬物依存」などの方の治療に関しては、子どもの年齢であっても一般の精神科や心療内科の受診をお勧めしております。

★諸事情から総合的に判断し、当センターでの継続的な診療が望ましくないと医師が判断した場合、受診後に適切な医療機関や相談機関にご紹介させていただくこともあります。その際はご了承いただきたいと思えます。

★なお、当センターには「発達障害者支援センター ふきのとう秋田」を併設しておりますが、「ふきのとう秋田」はあくまでも相談機関です。「発達障害」に関連した診断などは当センター「こころのケア外来」及び「メンタルヘルス外来」で行っておりますので、間違いのないようにお気をつけ下さい。なお、「ふきのとう秋田」との連携については積極的に行っておりますので担当医師にお問い合わせ下さい。

■いつやっていますか？

・月曜日から金曜日までの9:00から16:00までです。ただし、水曜日のみ9:00から12:00までとなっています。

・初診は、1時間の枠で予約可能であれば曜日は限定しておりません。

・再診は、30分の枠で行います。

★出張、研修、学会、会議などで休診となることもありますので、必ず予約をとって下さい。

■どうやって予約したらいいですか？

当センターの予約専用電話【018-826-8029】に「こころのケア外来の初診予約希望」とご連絡下さい。受診可能な日時をお伝えします。

★予約のお電話は必ずご本人かご家族からお願いいたします。特殊な事情でその他の方からしかご連絡いただけない場合は、ご家族にも受診する旨を必ずお伝えください。

■こころのケア外来の特色や得意技や必殺技はありますか？

・「家族連携」を重要視しています。

子どもを支えていくためには家族、幼稚園・保育園、学校、施設などさまざまな機関が連携していくことが必要です。情報を共有してそれぞれの役割を確認していくことは子どもの支援で最も大切なことであると思っています。そして、そのカナメとなるのが家族と考えます。こころのケア外来は、子どもさん自身の悩みとともに子育ての悩みも合わせてご相談いただくことによって、家族の機能を健全に保っていくことを1つの目標とします。

・「共に悩むこと」をモットーとしています。

メンタルヘルス外来の「解決志向」の考え方に反することではありません。目の前の問題は、子どもと家族、学校、地域などのさまざまな問題と複雑にからみあい、常に動いている生き物のようなものです。子どもさんの成長・発達に伴い、1つの問題が解決したと思ったら、次の問題が生まれてくる。しかし、振り返ると、その問題を共に悩んで乗り越えてきたからこそ、今があって、未来がある。そんな体験を一緒にしていければと考えております。